

# 巴川の学習 名前 ( )

巴川は、笠間市を源流として小美玉市、そして銚田市から北浦に流れる約 32km の川です。大雨のたびに田畑や道路が水につかってしまうので、工事が行われています。下流から始まり、現在は鹿行橋から本田橋のあいだ約 4.8km の間で行われています。

## 巴川河口 北浦橋



巴川の河口にあたる北浦橋からの様子です。岸はコンクリートでできていますが、ヨシ原が広がっているところもあります。

## 巴川中流 銚田市青柳と小美玉市下吉影

巴川の中流にあたります。水深が浅く水がすんでいます。水の中には、沈水植物がはえています。川のまわりには、水田がひろがっています。水田の先にはがけがあり、その上には台地が広がっています。タイワンシジミやカワニナもすんでおり、夏にはカワニナを食べるホタルが光るそうです。



巴川の風景（銚田地区）

ササバモ

タイワンシジミ？ カワニナ



エビモ



オオカナダモ



ホトケノザ



オオオナモミ



ツチバッタ



「夏に見られるトンボ」ナゴヤサナエ



ハグロトンボ (5月~10月)

## 巴川流域 池花池

水辺にはたくさん水鳥がいます。1年中いる鳥や冬になるとやってくる鳥などがいます。



池花池



アオサギ



オオバン



カワセミ



オカヨシガモ



トモエガモ



コガモ

## 巴川源流 愛宕山

巴川の源流は、笠間市の愛宕山になります。源流は水の量は少ないですが、山から流れ出るきれいな水が流れています。



山頂にある愛宕神社は、日本三大火防神社（防火の神）のひとつといわれています。大同元年（806年）につくられたと伝えられている歴史ある神社です。愛宕山には昔、天狗たちが住んだという伝説があり、天狗にまつわる場所も多くあります。その他、愛宕神社の裏には飯綱神社があります。つくられたのはいつだかわかりませんが、江戸時代にはすでにあつたようです。飯綱神社のうらには「十三天狗のほこら」と呼ばれる石のほこらがあります。